



第2回 幌延町まち・ひと・しごと創生会議  
幌延町地域振興（観光）計画アクションプラン検討会

日時：平成31年1月24日（木） 午後6時から

場所：幌延深地層研究センター国際交流施設 1階多目的ホール

- 議題：1. 開会  
2. 事業進捗報告  
3. 拠点整備に係る検討  
4. 実施予定事業について  
5. その他  
6. 閉会

出席者：別紙

<議事概要>

1. 開会

～委員長より開催挨拶

2. 事業進捗報告

～事業進捗状況について事務局より説明

- ・ディナー会は良い取組みだと思うが、幌延でも食べることができる場があったほうが良い。【委員】  
→シェフを招いて幌延にあう形にアレンジしたイベントなどの実施を考えている。【事務局】

3. 拠点整備に係る検討

～事務局より事前に提出頂いた意見（主なもの）について紹介

①道の駅整備にあたって

- ・町民の利用を考えると温泉等の設備が必要。また、既存の飲食店を圧迫しないようにする。
- ・幌延らしい特産を扱ってほしい。
- ・立地が郊外の場合、冬の運営が厳しい。町中の方が良いと思う。温泉や子供用の遊具などがあれば良い。
- ・車中泊の方はマナーが悪く、町への経済効果も少ないため、ターゲットにしない方が良い。
- ・行政のみで進めるのではなく、地域全体で努力する。
- ・幌延らしさに特化した施設運営をして欲しい。
- ・秘境駅を道の駅にしたらどうか。

②道の駅運営（実施主体）のあり方

- ・幌延町はコンパクトな町で生活環境が優れている。道の駅をきっかけに移住促進が進めばよい。
- ・定年された元気な方に活躍頂き、道の駅の運営コストを抑える工夫が考えられる。
- ・人材確保が重要となる。今後、どのような運営をするか検討頂きたい。
- ・当初は大橋付近が良いかと思ったが、冬の厳しさを改めて感じた。冬の運営は赤字になると思う。町が赤字を補填してまで、道の駅を運営すべきか分からない。町民の利用も考えると駅近くの防雪林付近でも良い。赤字を出さない運営を考える必要がある。【委員】
- ・道の駅をつくる場所、機能についてご意見がたくさんある。何のためにつくるか決めないと具体的な内容

に結びつかない。目的は経済効果ではないか。町民のためにも重要であるが、外のお金を稼ぐことにならない。道の駅が必要な理由など根本をみんなで話す必要があると思う。【地域おこし協力隊】

- ・ 私自身は道の駅は不要だと思っている。猿払の道の駅のように団体旅行のバスが対応できるなら人が来るが、幌延でその規模の道の駅をつくるのは難しい。しかし、老朽化する町の施設と一緒に道の駅をつくることで、財政面などにメリットがあれば、道の駅整備も良いのではないか。その場合は、市街地での整備が前提。例えば、団体旅行のバスに対応できるレストランを作り、冬は小さく運営するなど細かなところを考えないと難しい。【委員】
- ・ 川の駅と道の駅を連携し、北海道にないような道の駅ができればよい。中川からカヌーで下った場合、途中で宿泊できる場所も買い物場所もない。途中でカヌーの拠点が必要。夏場はカヌー・釣りで人を呼ぶなど、町への新たな集客を目指したい。冬はワカサギ釣り、スノーモービルなど旅行者が魅力を感じるアウトドア体験を提供したらどうか。町中に道の駅を設置する場合、町の商店と競争が生じるため難しい部分もある。天塩大橋の近くに道の駅・川の駅を整備したらどうか。【委員】
- ・ 実際にできることを実施し、実績を作ってから、具体的な道の駅の議論をしたらどうか。将来的な道の駅を目指して、できることを実施し、実績を積み上げることで、道の駅を運営する組織もその中で生まれてくるかもしれない。【委員】
- ・ 町営の風呂が老朽化し、改修が必要であれば道の駅に併用する形で出来たら良いのではないか。その場合は、町中にあると良い。慎重にやるべきという意見もあるが、道の駅ができることで町の特産品開発も進むのではないか。【委員】
- ・ 昨年の10月27日に青年部と町議会が意見交換を行った際、道の駅整備について話題提供し、意見をもらった。町中に設置した場合は、停車時のアイドリングなど騒音の問題、また、子供が気軽にいける場所で、遊べる施設があると良いとの意見が出ていた。【事務局】
- ・ 昨年に厚田に道の駅ができ、渋滞が発生した。最近は閑散としている。夏場は交通量も多く、ドライブ旅行者やバイクのツーリストも多い。今年の夏がどうなるか気になる。ぜひ、見に行きたいと思っている。【委員】
- ・ 天塩町の道の駅のレストランは毎日営業していない。道の駅のレストランに定休日があることが良いのか疑問。利用者は道の駅はいつも営業しているものと思っている。【委員長】
- ・ 中川町の道の駅は昼過ぎにレストランが閉まっている。苫前の道の駅では、苫前特産の大川のジンギスカン・辛みそホルモンが売っていたが、人気が無く今は販売していない。地域でいいものがあればしっかりとPRする必要がある。どこかの道の駅でピンク色の施設がありインスタ映えするため人気になっている。奇抜な道の駅も良いかと思う。【委員】
- ・ 厚田の道の駅は札幌が近いバイク族などが多く、土日は混雑している。幌延には参考にならないと思う。地道に利用者を増やす活動が必要だと思う。【委員】
- ・ 町中でも中途半端な場所だと、結局車で行くことになる。町中に道の駅ができたからと言って、町民が行くようになるかは疑問がある。また、オートバイが利用するようになったら、町中は騒音が問題になる。町民がお風呂に入るための道の駅は違うと思う。もし高齢者が行けないようなら、バスなどで足を確保すれば良い。広い土地と幹線道路から近い場所が良いのではないか。【委員】
- ・ 運営した際の採算性が心配に感じている。【委員】
- ・ 施設は大きくなくても良いのではないか。確かに冬は課題もあるが、どのように取り組むかが大事ではないか。冬の遊び方を教えれば、旅行者は来てもらえると思う。リピーターも増えるのではないか。冬には人が来ないではなく、冬に人を呼ぶためにどうするか考える必要がある。【委員】
- ・ 年間通して、人に喜ばれる特産品が無ければ難しいのではないか。やるならしっかりと計画を立て、季節

限定のものや地域の人がつくったものを出せるようになれば良い。利用した人が残念に思われないことを肝に銘じて考えなくてはならない。【委員長】

- ・ 近隣の市町村の特産品を販売している道の駅は多い。その町に十分な商品が無いのではないかと。幌延産樽を使ったお酒は期待している。【委員】
- ・ 幌延町は畜産に特徴があり、ジビエ料理に繋がると思う。私自身、販売製造はできるが畜産ができない。【委員】
- ・ 鹿の駆除で年間600頭処理しており、それを活用できれば良い。【委員】
- ・ 事前に頂いた意見の中に、憩いの湯の場所に道の駅を整備してはどうかとの提案があったので、紹介差せて頂く。2階建てにして浴場は2階に設置する案。駐車場、公共的施設（図書館、集会所、体育館、駐車場）が近くにあり、補完し合える位置関係にあるのは、コスト削減の面でも有効。【事務局】
- ・ 幌延町の特徴としてトナカイのソリが乗れるのは良い。道の駅にトナカイを連れてきて、付近の道路や道の駅からもトナカイが見られれば、利用者から喜ばれるのではないかと。【委員長】
- ・ 私は足達委員の意見に賛成。北海道はアウトドアの適地だと思う。外での遊び方を提案し、イベントを開催すれば人が集まると思う。町外から人を呼ぶには、アウトドアは良いと思う。道の駅の議論は3年目となり、検討会のような議論を進めてもまとまらないと思う。実際に道の駅を運営する人を呼んで、その人を中心にコンセプトをまとめて、決めていったら進むのではないかと。【委員】
- ・ 道の駅が必要か不要の下に、必要な場合の機能などをぶら下げて、分かりやすく整理しないと毎回、漠然とした意見になってしまうのではないかと。【委員】
- ・ 幌延町は旅行者が泊るところが無いことが、大きな問題となっている。昨年、キャンプ場が整備され、多少は緩和すると思う。冬のイベント時には、また泊まる場所が無く、問題になる。【委員長】
- ・ 宿泊者は工事関係者が多い。今後どうなるか分からない部分もあるが、あと5～6年ぐらいはこの状況が続くのではないかと。観光客にも対応したいと思うが、設備投資には町の支援が必要になる。【委員】
- ・ 幌延町には宿泊する場所も食事する場所も少ない。旅行者を受け入れられる体制が必要。【委員長】
- ・ 観光の需要は季節の変動が大きい。礼文町のホテルは冬期に閉館している。夏の観光ピーク時に合わせた宿泊と、冬の別な使い方では稼働率が高くなれば、新しい宿泊施設をつくる意味がある。【委員】
- ・ 道北はインバウンドが少なく、今後伸びることも考えられる。仕掛けかたによっては、稼働が増える可能性もある。【委員】
- ・ 雪をコンセプトに掲げて、いろいろな企画を出して、集客することも考えられる。【委員】
- ・ 観光列車のツアーでは幌延町で1時間ほど滞在した。参加者の反応はどうだったか、事務局で把握しているか。【一関委員長】
- ・ お見送りの際、駅にトナカイを連れてきたことは好評であった。昼食も用意したおり、参加者が多いため、幌延・豊富のお店合同で準備・提供した。一昨年のモニターツアーでも、トナカイは人気だった。「幌延＝トナカイ」のイメージは浸透しつつあるのではないかと。【事務局】
- ・ 観光列車は今後増える可能性があるか。【委員長】
- ・ 今回のモニターツアーは、北海道が実施したもの。JR 単独では厳しい。関係機関と協力しながら実施するのであればできる。【オブザーバー】
- ・ 昨年度と今年度は北海道の予算を立て、観光列車を運行した。インバウンド旅行者は、雪を見たことない方も多し。他の地域も観光列車に来て欲しいとの依頼があり、再度、宗谷に観光列車が来るかは分からない。振興局としては誘致を頑張りたい。【オブザーバー】
- ・ 私自身、豊富町の湿原センターに勤務している。センターは NPO 運営しており、道の駅も同じような NPO が運営主体になれば良い。センターには年間4万人の来館があるが、冬は人が来ない。先日、欧州

のブロガーを招聘した。インバウンドはアジアだけではなく、欧米の方も来ている。欧米をターゲットにして、発信することも重要。誰がやるかが重要となり、中途半端にやると衰退することとなる。本腰いれてやる人が必要だと思う。【委員】

- ・当初は道の駅の議論に熱意があった。今は、熱意を感じない。もう少し時間をつくって議論した方が良いのではないかと考えている。【委員長】
- ・どの程度、我々の意見が道の駅の検討に取り入れられるか分からないため、熱意も低くなっている。過去に町の施設整備に関する意見を出したことがあるが、取り入れられなかった。すでに決まっていることに、意見を出しているように感じている。【委員】
- ・過去のことはわからないが、今回はみなさんの意見をベースに、検討・模索しながら前に進めている。【委員長】
- ・今回は、総合計画、総合戦略を策定する中で出た「道の駅の整備」の実現について段階を踏んで議論を進めている。それぞれいろいろな感想を持たれる方もいると思うが、議論した内容については、一言一句ではないが、盛り込んでいる。【事務局】
- ・検討会のように定期的に集まり議論しても、時間・回数が足りないと思う。【委員】
- ・以前、じゃらんで働いており、過去の経験から結果を出している組織は、民間が主体となっている場合が多い。幌延は行政が主体となっている。地域振興で直接関係するのは、民間の方。今回の検討会で何か決まっても、町全体の合意とは言えない。民間の方の熱意が必要。真剣にこの街をどのようにすべきかを民間が考える必要がある。【地域おこし協力隊】
- ・次の招集の際には、さらに活発な意見を期待したい【委員長】

#### 4. 実施予定事業について

～道の駅絵本の里けんぶちの視察について事務局より説明

#### 5. その他

～幌延町産樽でワイン熟成について説明【事務局】

～はまなす財団の補助事業について説明【事務局】

～フリカムイホロノベについて説明【事務局】

- ・2月9日に2回目となる「ゆきん子祭り」が開催される。町内の若手が集まった実行委員会が主催する。みなさんも参加して欲しい。来週中にはチラシを作成し、全戸配布する。【委員】

#### 6. 閉会

- ・今回も色々なご意見を頂いた。道の駅整備に関しては、今後も、委員長、委員のみなさん、事務局と協議しながら進めたい。私自身、道の駅整備に関して、決めつけた形の指示をしたことは一度もない。みなさんには、町の施策検討に最初から入ってもらい、一つ一つをふるいにかけて、町でまとめて、議会にお諮りするプロセスというのは変わらない。庁内でも議論し、議会への提案する内容について検討したい。よりよい拠点のあり方について、今後みなさんで議論を深めて欲しい。いらぬ意見の方も、どうすればいるようになるのかのご意見も欲しい。一步一步進んでいるように感じている。先ほどの事務局の説明に補足するが、今年の観光列車については、好評で、もちろん幌延町での食事に関しても好評だった。稚内に着いた後、セレモニーを行ったが、セレモニー後にすぐ解散となっており、幌延町での食事がメインのような内容であった。旅行会社からもお礼を頂いた。【町長】
- ・欠席委員も多いが、多くの意見を聞きながらこの事業を成功させたいという思いを強く感じた。この事業

に対する思いを議論し、町に伝えて欲しい。議会は町からの提案を受け、判断していくこととなる。

【オブザーバー】